



幼保連携型認定こども園

倉治こども園

こども園だより

令和 7年 11月28日発行

園長 伊賀 治

思いやりと感謝の心を育むために



日増しに肌寒さを感じる季節となりました。もう少し過ぎやすい秋を楽しみたかったところです。さて、今年は少し早めのインフルエンザの流行期に入りました。四條畷保健所からも警報レベルとの情報提供があり、市内の小・中学校でも学級閉鎖等の情報が毎日のように届いています。倉治こども園でも11月25日には50名を超える欠席者(内インフルエンザが23名)があり、休校(休園)レベルにあたります。状況に応じて、家庭保育へのご協力をお願いいたします。なお、体調不良の場合等も無理せず登園をお控えください。

次に、12月6日(土)には発表会が控えています。子どもたちは運動会以降少しずつ練習に取り組んできましたが、ここにきて欠席者が多く練習に苦慮するクラスもあります。あと1週間で最後の仕上げにかかる予定です。皆がそろって発表会に参加できることを願うばかりです。ねらいは、行事を通じ「できる、できた!」との自信を持つこと、仲間とひとつの事をやり遂げる達成感や、楽しくのびのび表現する充実感を味わうことなどにあります。子どもたち一人一人の成長につながる発表会になることを願っています。



【七五三詣り～機物神社でお参りました～】

七五三の由来は、平安時代に行われた、3歳の「髪置き：子供が髪を伸ばし始める時の儀式」、5歳の「袴着：男の子が初めて袴をつける儀式」、7歳の「帯解き：女の子が初めて帯を結ぶ儀式」の儀式にあるといわれています。昔は子供の死亡率が非常に高かったため、このような節目に成長を祝い、子供の長寿と幸福を祈願しました。医療が発達した現代でも、子供を思う親心には変わりはなく、七五三というかたちで受け継がれています。倉治こども園では、11月12日に、うめ・もも・さくら組が七五三詣りで機物神社にうかがいました。子どもたちの健やかな成長と幸せを祈願していただきました。子どもたちは神妙な面持ちで宮司さんのお話を聞いていました。今後ますますの健やかな成長を見守っていききたいと思います。



【交通安全教室～お巡りさんよりやさしく教えていただきました～】

子どもが交通事故から身を守るには、幼い頃からくり返し交通ルールや交通マナーを学び交通安全の基本を身につけることが大切です。この度は、うめ・もも・さくら組は、交野署のお巡りさんと交野市の危機管理室からお越しいただき交通安全について学習しました。お巡りさんから道路の歩き方や交通標識等のお話を聞いた後、実際に園庭でラインカーで描いた模擬道路を使って、横断歩道や踏切の渡り方などを体験しました。自分の命は自分で守るための大切な体験となりました。ご家族でも交通安全についてお話しをするきっかけにいただければ嬉しいです。



【うめ組遠足～京都市動物園へ！】

うめ組は、秋の遠足で京都市動物園へ行ってきました。前の週までお天気を少し心配しましたが好天に恵まれ良かったです。他クラスの園児に見送られる中、バスに乗り込み動物園へ向かいました。キリン・ゾウ・カバなど本物を目の当たりにし目を輝かせながら見ていました。また、ヤギのエサやり体験もしました。興味津々で近づく子や怖くて後ずさりする子もありましたが、最後はヤギと仲良くなっていました。お弁当タイムは、おうちの方のお弁当を嬉しそうに頬張っていました。楽しい1日を過ごすことができました。



【小型遊具設置のお知らせ】

本日11月28日(金)に、すみれ組前の小園庭に小型の遊具を設置しました。以前プレハブがあった場所を整備し、2～3歳児中心に活用していきます。使用は発表会以降(12/8～)になりますが、お迎え時に遊具のご利用の際は、保護者の方で安全確保をお願いいたします。なお、駐車場が混み合うこともあり、早めのお帰りにご協力ください。



今後、2月ころ(早ければ1月)園庭の遊具の入れ替え工事を行う予定です。わんぱくとりで・ブランコ・砂場、小園庭の砂場・人工芝の工事を予定しています。日程が決まり次第お知らせいたします。よろしくお願いいたします。